

授業科目等の概要

(職業実践専門課程 エアラインビジネス科) 令和 5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Shadowing I	英語のそれぞれの音をきちんと発音し、聞き取る訓練をする。また、正しいイントネーションを身に付けるための演習を行う。	1前	68	2	○	△		○		○		
○			Shadowing II	Shadowing I で身につけたスキルを更に高めるトレーニングをする。正しいイントネーションやストレスを身に付けるための演習を行う。	1中後	72	3	○	△		○		○		
○			Reading / Writing I	多読教材(Graded Readers)の活用により、語彙力・リーディング力の向上を目指す。また、精読を通して長文読解力の向上を目指す。	1前	68	2	○	△		○		○		
○			Reading / Writing II	Reading I から継続し、多読・精読を通して語彙力・リーディング力の向上を目指す。	1中後	72	3	○	△		○		○		
○			Listening / Speaking I	ロールプレイやゲームなど様々な方法を組み合わせて英会話に慣れ親しむことを目的とする。	1前	68	2	○	△			○		○	○
○			Listening / Speaking II	ネイティブとのコミュニケーションをとって自分の意見や考えを英語で言えることを目的とする。	1中後	72	3	○	△			○		○	○
○			英検・TOEIC I	英検準2級、TOEICリスニングパートの対策を中心に進め、大量の英語に触れながら出題傾向を知ることによって得点力向上を目指す。	1前	68	2	○	△		○		○		
○			英検・TOEIC II	文法・語彙項目対策とリーディング対策を中心に行い、ビジネスにおけるコミュニケーションで必要最低限の知識習得を目的とする。	1中後	72	3	○	△		○		○		
○			中国語会話 I	「読むと聞く」を中心に音としての中国語に馴染んでいく。「聞ける、話せる」力を養い、中国語検定準4級の資格取得を目指す。	1通	70	2	○	△		○			○	
○			エアラインサービス I	エアラインの基本的理解を深め、空港業務全般から各部門の基礎を学び、エアライン業界への就職を目指す。	1通	140	5	○	△		○	△	○		○
○			サービス介助士	高齢の人や障がいがある人を手伝うときの「おもてなしの心」と「介助技術」を学び、相手に安心していただきながら手伝いができる知識と技術を習得します。	1前	34	1	○	△		○			○	○
○			地域観光学 I	地域と連携して課題発見・解決策を考え、観光振興に寄与する取り組みを実践形式で学ぶ。	1中後	36	1	△	○		○		○		
○			一般常識 I	業界就職の採用試験に向けて必要な言語系の一般常識、知識を学習する。	1通	70	2	○			○			○	
○			インターンシップ	観光立県沖縄の先を見据えた国際感覚を身に付けた次代を担う人材育成を目的として、業界に通用する実践力育成を行う。	1中	80	3			○		○			○
○			日本語表現法演習	相手に伝わる話し方や表現力を身につけ、面接試験や就職後の接客応対に活かす。	1通	70	2	○	△		○			○	
○			秘書概論	サービス接客検定2級や秘書検定2級の取得を目標として、ビジネス常識および基礎的なコミュニケーション、情報の利活用などを学ぶ。	1通	70	2	○	△		○		○		
○			TOEIC演習 I	英語コミュニケーション力向上の必要性に鑑み、実践的TOEIC問題集を中心に講義・演習を展開する。主な力点はリスニングとリーディングに置く。	1前	60	2	△	○		○		○		
○			海外語学研修	海外の語学学校に通い、オールイングリッシュの環境に身を置くことで英語力を総合的に向上させる。	1前	160	5			○		○			○

授業科目等の概要

(職業実践専門課程 エアラインビジネス科) 令和 5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Shadowing III	Shadowing II で身につけたスキルを更に高めるトレーニングをする。正しいイントネーションやストレスを身に付けるための演習を行う。	2前中	82	3	○	△		○		○		
○			Reading / Writing III	リーディング・ライティングを中心に、一般ビジネスの現場で使われるビジネス英語に慣れることを目標とする。	2前	72	3	○	△		○		○		
○			Reading / Writing IV	リーディング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英語力習得を目的とする。	2中	36	1	○	△		○		○		
○			Listening / Speaking III	スピーキング・リスニングを中心に、一般ビジネスの現場で使われるビジネス英語に慣れることを目標とする。	2前	72	3	○	△		○			○	○
○			Listening / Speaking IV	ネイティブとのコミュニケーションをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする。	2中	36	1	○	△		○			○	○
○			英検・TOEIC対策 III	英検 2 級A、TOEIC600点以上の取得を目標とし、ネイティブスピーカーの考え方や言葉の使い方を考えながら語彙を習得する。	2前	36	1	○	△		○		○		
○			中国語会話 II	空港業務（チェックイン・案内等）が出来るように中国語の会話力を向上させる。	2前中	54	2	○	△		○			○	
○			エアラインサービス II	エアライン業界の基本的理解を深め、業務全般から各部門の応用を学び、高い質のサービスを提供するために必要な技術を身につける。	2前中	54	2	○	△		○		○		
○			接客サービス演習	業務の実際の事例を通して、どのような対応をすればいいのかをディスカッションし、現場で求められる接客対応能力を身に付ける。	2前	54	2	△	○		○		○		
○			地域観光学 II	沖縄を中心にした題材を基に観光に結びつけて展開する。沖縄観光の未来を拓き、魅力発信力に繋げる。	2前中	54	2	○	△		○	○	○		
○			一般常識 II	業界就職の採用試験に向けて必要な言語系の一般常識、知識を学習する。	2前	28	1	○	△		○			○	
○			アプリケーション演習	Microsoft Excel®を用いて簡単なワークシートの作成とデータの入力、パソコン、表計算、ビジネス図表に関する基礎的な技能を学習する。	2前	72	3	○	△		○		○		
○			コミュニケーション技法	就職後、円滑なコミュニケーション能力を身につけるため「話す」「聞く」の2本柱を総合的に学び的確に意見を伝えられるコミュニケーション技法を身につける。	2前	18	1	○	△		○		○		
○			リテールマーケティング	マーケティングの基本的な考え方や流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解していく。	2前	48	1	○	△		○		○		
○			卒業論文	卒業論文のテーマ選定、章立ての方法等を学び、400文字原稿用紙の10ページ仕上げでまとめる。	2前中	44	1	△	○		○		○		
○			TOEIC演習 II	実践的TOEIC問題。集を中心に講義・演習を展開する集中講義。主な力点はリーディングに置き、TOEIC600点以上を目指す	2前後	50	1	△	○		○		○		
合計				36 科目		2,160		単位時間		73	単位				

卒業要件及び履修方法	授業期間等
<p>◇履修科目の成績評価</p> <p>(1)成績評価は履修科目ごとに、評価する。</p> <p>(2)成績評価は、単位認定テスト、確認テスト、出席率、授業態度、その他課題等によってなされる。</p> <p>(3)評価 …… 成績評価は、A・B・C・D・Eの5段階とする。</p> <p>(4)評価基準</p> <p>A：科目の理解度と授業態度の極めて優秀な者（100～85点）</p> <p>B：科目の理解度と授業態度の優秀な者（84～70点）</p> <p>C：科目の理解度と授業態度の良好な者（69～50点）</p> <p>D：科目の理解度と授業態度がやや劣る者（49～30点）</p> <p>E：科目に対する理解及び日常の授業態度が著しく劣る者（29～0）</p> <p>(5)評価内容（100点満点として）</p> <p>①試験 70点 ②出席 20点 ③授業態度 10点</p> <p>・試験点については、筆記、実技試験、レポート、製作物等の評価点数に70%乗ずる。</p> <p>・授業態度については、各担当の講師の評価とする。</p>	<p>1 学年の学期区分</p> <p>前期 中期 後期</p>

授業科目等の概要

(職業実践専門課程 エアラインビジネス科) 令和 5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
・授業態度については、各担当の講師の評価とする。 (6)成績評価表 前期、中期、後期の評価表を作成する。 (7)単位認定試験 ・原則として、全科目、単位認定試験を実施する。 ◇卒業条件 (1)履修時間 本校在籍期間中に1700時間以上を履修しなければならない。 (2)卒業単位の取得 本校在籍期間中に62単位以上を取得しなければならない。 (3)卒業基準検定の取得 卒業年次の2月末日までに基準検定を取得しなければならない。 (4)卒業論文の提出 原則として学校指定の形式で4000文字以上を作成し提出								1学期の授業期間			20週				

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。